

## トラック輸送情報（平成23年10月分）

平成24年1月13日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報政策課 交通統計室

担当：中倉 内線28721

直通：03-5253-8347

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

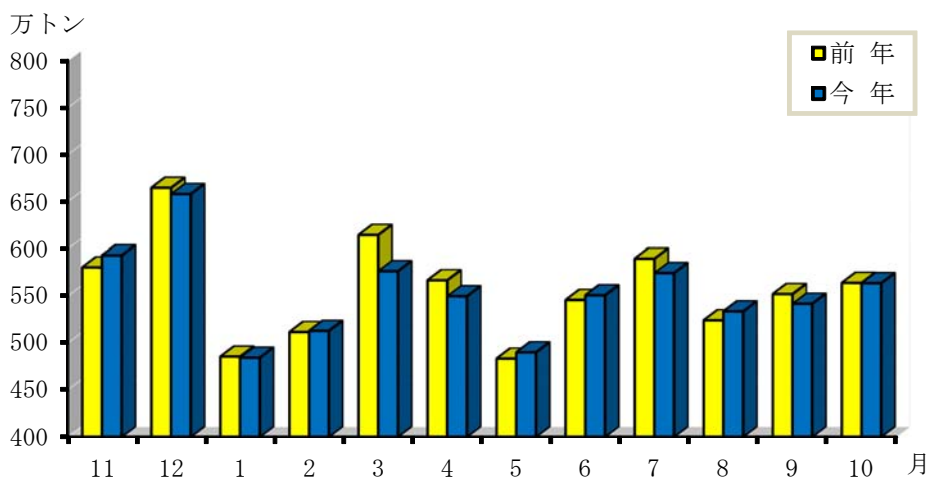
### 1. 特別積合せ貨物

#### (1) 本月の概況

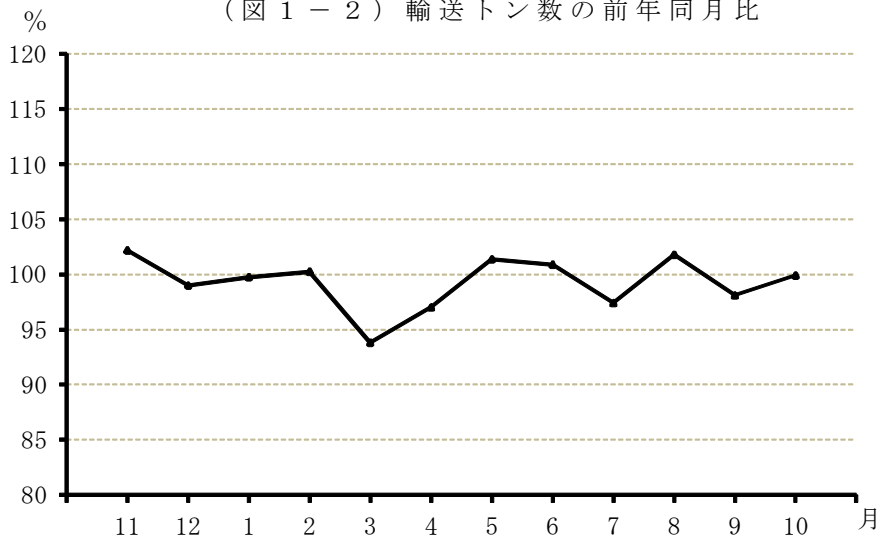
調査対象26社の本月の輸送量は、5,639,320トンで、前月と比べ総輸送量が約22万トン増加したため、前月比104.0%（季節調整済み99.2%）となり、前年同月との比較では、約3千トン減少したため、前年同月比99.9%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

なお、平均稼働日数は24.1日で、前月と比べ0.7日増加し、前年同月と同日数であった。稼働1日当たりの輸送量は、233,997トンで、前月と比べ約2千トン増加したため、前月比101.0%となり、前年同月との比較では、約1百トン減少したため、前年同月比99.9%の実績であった。

（図1-1）輸送トン数の推移



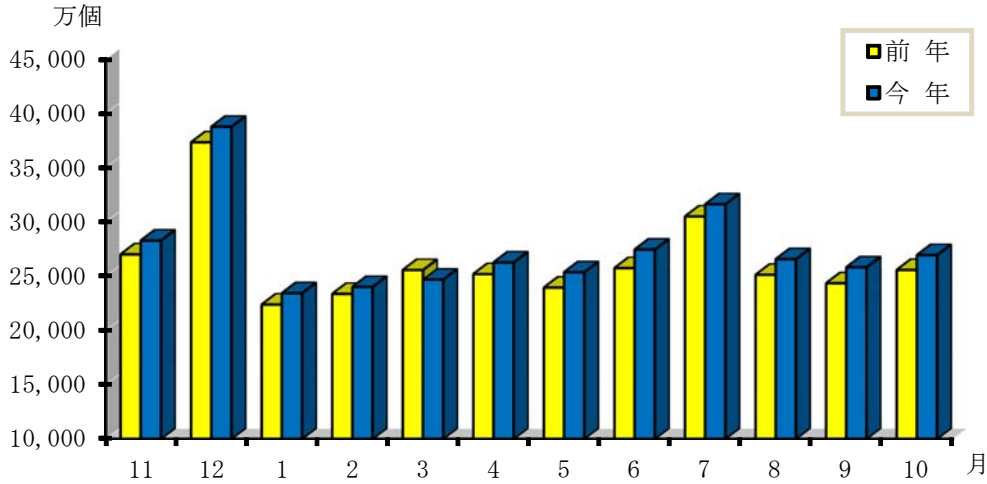
（図1-2）輸送トン数の前年同月比



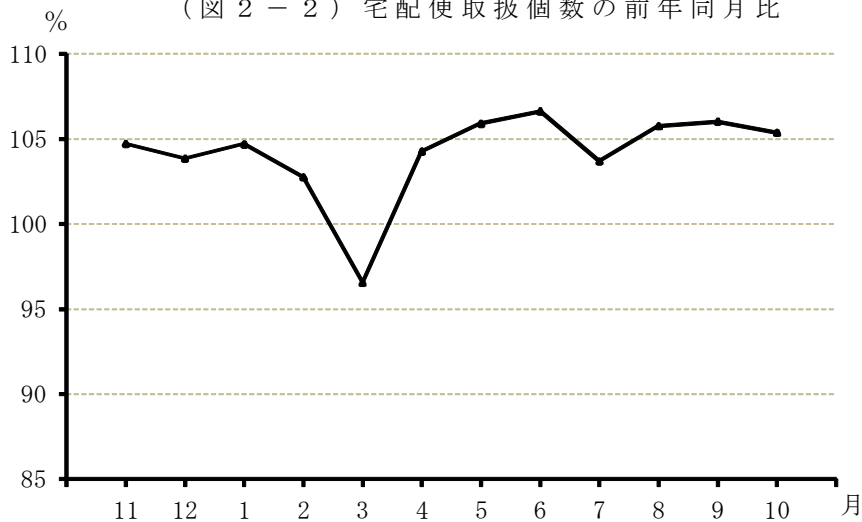
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、269,610 千個で、前月と比べ 約 1,125 万個増加したため、前月比 104.4%(季節調整済み 102.4%)となり、前年同月との比較では、約 1,371 万個増加したため、前年同月比 105.4%の実績であった。(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社(26 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社)の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、「農水産品」、「機械」、「日用品」で、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増が共通して見られたほか、倉庫から出る貨物増が「機械」で見られた。「農水産品」の主な増加地域は関東地方、中国で、「機械」の主な増加地域は近畿地方等であった。また、「日用品」の主な増加地域は東北、関東地方、北陸信越、近畿地方、中国等であった。

前年同月と比べると、工場・生産地や倉庫からの貨物増等を要因として「農水産品」、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」で見られた。主な増加地域は、東京、関東、大阪、中国等であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因	
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減				
前 月 に 比 べ て	農水産品	3	4	11		野菜、果物	関東地方、中国	4, 8	
	金属製品		3	18					
	機 械	1	4	14	2	1	産業機械、その他の機械	近畿地方	7
	化学工業品		3	17	2				
	繊維工業品		5	16	1			関東地方、北陸信越、愛知、近畿地方、中国	4
	食料工業品		3	16	1				
	日 用 品		8	12	2		身廻品、その他の日用品	東北、関東地方、北陸信越、愛知、近畿地方、中国	4
	そ の 他		4	13		4	宅配便 その他(百貨店配送品)	全国	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	2	3	12	1	野菜、果物	中国	4	
	金属製品		3	17	1		東京、関東、北陸信越、大阪、兵庫	4	
	機 械		8	10	2	1	機械部品 その他の機械	北陸信越、大阪、近畿 東北	4
	化学工業品	1	4	16	1		合成樹脂、その他の化学工業品	関東	4, 7
	繊維工業品		3	17	2				
	食料工業品		3	13	4			関東	4
	日 用 品	1	4	12	4	1	玩具 衣服	近畿、中国	4, 7
	そ の 他		4	9	6	2	宅配便	東北、全国	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。  
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者 795 社／調査対象事業者数 1,046 社）の輸送量は、前月比 105.6%、前年同月比 105.0%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	105.0 %	111.2 %	102.6 %	98.9 %	121.2 %	103.5 %	93.7 %	104.5 %	101.8 %	101.0 %	96.0 %	
前 月 比	105.6 %	113.7 %	108.8 %	100.7 %	107.1 %	101.4 %	97.6 %	104.3 %	101.5 %	100.1 %	101.6 %	

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比113.7%、対前年同月比111.2%であった。品目別では、季節的需要増等により「穀物」、「野菜・果物」、「その他の農産品」、「水産品」、「その他の石油製品」、「揮発油」の輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。また、建設関係の需要増により「セメント」、「その他窯業品」が、工場・生産地からの需要増等により「石炭」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地での需要減等により「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。また、季節的需要減等により「食料工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比108.8%、対前年同月比102.6%であった。品目別では、季節的需要増等により「穀物」、「紙・パルプ」が、震災復旧による需要増により「木材」、「砂利・砂・石材」、「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比100.7%、対前年同月比98.9%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「動植物性飼・肥料」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比107.1%、対前年同月比121.2%であった。品目別では、季節的需要増等により「水産品」、「揮発油」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降については減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比101.4%、対前年同月比103.5%であった。品目別では、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降については減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前年比97.6%、対前年同月比93.7%であった。品目別では、季節的需要増等により「日用品」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、倉庫への入出庫減により「その他の窯業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比104.3%、対前年同月比104.5%であった。品目別では、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「食料工業品」、「取り合せ品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月はほぼ横ばい、以降については減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比101.5%、対前年同月比101.8%であった。品目別では、季節的需要増等により「野菜・果物」、「揮発油」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響により「輸送用容器」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降についてはほぼ横ばいが予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比100.1%、対前年同月比101.0%であった。品目別では、季節的需要増等により「穀物」、「金属製品」、「紙・パルプ」が、工場・生産地からの貨物増等により「化学肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減等により「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比101.6%、対前年同月比96.0%であった。品目別では、デパート・スーパーへの貨物増により「日用品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>

## (3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	4	6		2			1		3	1	17
	減	1	1									2
2. 野菜・果物	増	9			1			1	2	2		15
	減	3	3						1	3		10
3. その他の農産品	増	8										8
	減	1						1			1	3
4. 畜産品	増							1		1		2
	減									1		1
5. 水産品	増	3	1		2			1				7
	減	1	1									2
6. 木材	増	1	4					1		1	1	8
	減	1			1			1		1		4
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	2	1		1							4
	減											
9. 金属鉱物	増									1		1
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	5	2		1	2		3		2		15
	減	6								1		7
11. 工業用非金属鉱物	増	1	1		1			1	1	1		6
	減	1	1									2
12. 鉄鋼	増			1						3		4
	減							2		1		3
13. 非鉄金属	増				1			1				2
	減									1		1
14. 金属製品	増		2		1		2	1	1	4	1	12
	減		1		3	1	1	1	1			8
15. 機械	増	1	1	1	1	3	2	1		2		12
	減		3	1	1	2	2	1	1		1	12
16. セメント	増	2	1			2		2		2		9
	減				1					4		5
17. その他の窯業品	増	2	1		1					2		6
	減		1				1			1		3

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増	2	1	1	2				1			7
	減											
19.その他の石油製品	増	3	1		1				1			6
	減		1		1		1					3
20.コークス・ その他の石炭製品	増				1							1
	減											
21.化 学 薬 品	増	1						1				2
	減											
22.化 学 肥 料	増				2		1		1	2		6
	減	1			1							2
23.その他の化学工業品	増				1				1			2
	減											
24.紙 ・ パ ル プ	増	2	2		1		1	1	1	2		10
	減						1	1	1		1	4
25.織 維 工 業 品	増		1								1	2
	減				1				1			2
26.食 料 工 業 品	増		1	1	1		1	1	2	3		10
	減	2	1		2		1	4	2	3		15
27.日 用 品	増	1	1		1		2	1		4	2	12
	減	2		1						3		6
28.その他の製造工業品	増		2	1	2	1	2	1	1	2		12
	減		1	1	2					2		6
29.金 属 く ず	増									1	1	2
	減											
30.その他のくずもの	増									1	1	2
	減									1		1
31.動植物性飼・肥料	増	1	2						1			4
	減	6		1			1			1		9
32.廃 棄 物	増		2					2				4
	減							1				1
33.輸 送 用 容 器	増		1							1		2
	減				1			1	1			3
34.取 り 合 せ 品	増	1	4									5
	減							3				3
35.そ の 他	増	1	2	3	1	1	2	8	1			19
	減			3			1	4	1	2		11